

原料費調整制度に基づく2024年12月検針分のガス料金について

1. 2024年12月 検針分の料金表
(1) ガス小売供給約款契約料金表（福島支社・茨城支社・茨城南支社地区）
各月のご使用量に応じてAからDの各料金表が適用されます。

	(税込)			
	料金表A	料金表B	料金表C	料金表D
月間使用量 (m³)	0～24	24～102	102～501	501～
基本料金 (円/月)	913. 00	1, 193. 50	1, 468. 50	6, 383. 63
調整単位料金 (円/m³)	222. 49	210. 80	208. 11	198. 31
【参考】前月調整単位料金 (円/m³)	(213. 43)	(201. 74)	(199. 05)	(189. 25)

- (2) 標準家庭における影響

	(税込)		
1か月のご使用量※	2024年12月ガス料金	2024年11月ガス料金	差 額
23m³ (45MJ)	6, 030円	5, 821円	209円

※ 1 か月のご使用量については、2016年度から2020年度のご家庭 1 件当たり使用量の平均値です。

■ 標準家庭料金の計算方法
2024年12月ガス料金(円：税込) = 基本料金 (円) + 単位料金 (円/m³) × ご使用量 (m³)

$$\boxed{6, 030} = 913. 00 + \boxed{222. 49} \times 23$$

単位料金 (円/m³) = 基準単位料金 (円/m³) + 単位料金調整額 (円/m³)

$$\boxed{222. 49} = 208. 10 + \boxed{14. 39}$$

2. 原料価格の変動

- (1) 原料価格の実績

		(円/ t)
算定期間	2024年7月から2024年9月	
平均原料価格	卸供給	93, 880
	LNG	93, 630
	LPG	92, 880
		93, 810 (a)
基準平均原料価格	78, 400 (b)	
差額 (a-b)	15, 410	

※LPG価格、LNG価格はともに貿易統計値

- (2) 単位料金調整額の算定方法

■ 平均原料価格の算定

平均卸供給価格 $\boxed{93, 880\text{円/t}} \times 0. 5930$

平均LNG価格(貿易統計値) $\boxed{93, 630\text{円/t}} \times 0. 4021$

平均LPG価格(貿易統計値) $\boxed{92, 880\text{円/t}} \times 0. 0053$

平均原料価格 $\boxed{93, 810\text{円/t}}$ (10円未満四捨五入)

■ 原料価格変動額の算定

$\boxed{93, 810\text{円/t}} - 78, 400\text{円/t} = \boxed{15, 400\text{円/t}}$ (100円未満切り捨て)

■ 単位料金調整額 (m³あたり調整額) の算定

単位料金調整額 = $\boxed{15, 400\text{円/t}} \div 100\text{円/t} \times 0. 085\text{円} \times 1. 10$

= $\boxed{14. 39\text{円}}$ (小数点第3位以下切り捨て)

【参考】原料費調整制度の概要

■ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、ガス料金の単位料金(ガス1m³当たりの単価)を毎月調整する制度です。
■ 「基準平均原料価格(78,400円/t)」と「平均原料価格(料金適用月の5ヶ月前から3ヶ月前の3ヶ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円/tにつき、ガス1m³当たり0.085円(税抜)の単位料金を調整いたします。
■ 原料価格の変動は貿易統計の実績によります。